

2025 年度 第 3 回入試（社会） 解説・出題の狙い

解説中の【A】【B】【C】【D】は、正答率及び得点率を表しています。【A】は76%以上、【B】は75～51%、【C】は50～26%、【D】は25%以下となります。参考にしてください。

1

問 1

(1) 【B】漢字で正しく書くことを意識しましょう。屋久島の低地にはビロウ・ガジュマルなどの亜熱帯植物が自生しているほか、標高 1000～1500m 付近には屋久スギの原生林が自生しています。2024 年の台風 10 号の影響で、樹齢 3000 年とされる「弥生杉」が根元近くから折れてしまったニュースを耳にした人も多いのではないのでしょうか。

問 2 【C】2025 年は戦後 80 年です。単純な年号を聞く問題ではなく、太平洋戦争の中での沖縄戦の位置付けを把握しているか確認するための出題です。

問 3 【C】基本的な内容。グラフで出題されることが多いトピックですが、こうした表でも推移を判断できるようにしていきましょう。

問 4 【A】海のない県を選ぶ問題です。各都道府県を覚える際には、隣接する要素にも目を向けておきましょう。イ・ウ・エの県の湾の名前などを復習しておくことをおすすめします。

問 5 【B】平安時代の重要な項目である菅原道真の遣唐使中止の申し出を問う基本問題です。

問 6 【D】基本的な用語を確認する問題。特に他国との境目でトラブルが起きる昨今なので、時事問題の要素も含まれています。

問 7 【A】歴史的知識と地理的知識を合わせて考える必要がある総合問題です。「うどん」、「オリーブハマチ」から香川県にある金比羅宮を類推できます。

問 8 【B】単純な知識問題ではなく、着眼点が重要になる問題です。鉄砲作成と刀鍛冶では、鉄を加工することに類似点があることに気づけるかがポイントです。

問 9 【B】日本と海外の交流に関する基本問題です。重要な単語とその時代を判別することが重要です。

問 10

(1) 【C】浮世絵と現代の写真から、日本橋が大きくアーチ型にかかっている江戸時代では船舶中心です。現代は日本橋上空に高速道路がかかっており、車を中心ということを読み取ることが重要です。問題文の内容に影響されて、地理的な解答をするのではなく、あくまでも江戸時代と現代の輸送に着目出来るか否かが重要な点です。

(2) 【B】新幹線とともに高速道路は最初の東京オリンピックや大阪万国博覧会に向けて整備されていったことを把握することが重要です。

問 11【B】SDGs を単なる知識ではなく、現実社会の出来事と関連付けて理解できるかを問うています。問題内容そのものは難しくありませんが、説明できる記述力や論理力がカギとなります。

問 12【B】日米和親条約の内容を問う基本問題です。

問 13【A】新紙幣発行で採用された人物に注目度が高まっていますが、その中で、欧米に留学した女性は津田梅子のみです。

問 14

- (1)【C】用語としては難易度が高いですが、現在まで続く「持続可能性」のキーワードが初めて示された会議でもあるので、知っておいてほしいです。
- (2)【A】大臣の任命権については、公民の基礎中の基礎です。きちんと学習をしてきていれば解けるはずです。

問 15【D】日本列島は、大地が活発な造山帯にあり、活火山が 111 個あります。そのうち富士火山帯は、新潟・長野・山梨・静岡の 4 県を通り、伊豆半島から伊豆諸島・小笠原諸島へと海上遠くまでのびる火山帯です。富士山や箱根山なども活火山に該当します。理科の学びと社会の学びをリンクさせるのもおもしろいですよ。

問 16

- (1)【A】都道府県名と県庁所在地名の組み合わせは正しく漢字で書くことができるようにしましょう。
- (2)【D】棚田は、山の斜面を耕地に利用する方法です。稲作を行う場合は棚田と呼びますが、果実などの栽培を行う場合は段々畑と呼ばれます。日本は国土の大半が山地の国で、山地は農業に適していないため、せまい平野部で作物の生産量を増やすための工夫として棚田がつくられてきました。
- (3)【C】農業においてその品質を左右する要素の 1 つとして水質の高さが挙げられます。棚田では、高低差を利用した水の流れが工夫されており、上から下の田んぼに水が流れ落ちる仕組みになっています。生活用水と切り離れた、稲作のためだけの水を循環させることができる棚田の仕組みは、そのおいしさの秘訣といっても過言ではないのです。そのほかにも、大雨が降っても、田んぼが水を蓄え、川に流れ出す水はわずかとなり洪水を防ぐ機能もあるほか、山の斜面を棚田にすることで、土砂の流れがなくなり、地滑りを防ぐことができます。農作業の 1 つ 1 つについて名称を覚えるだけでなく、なぜそうした作業をするのか、その工夫をすることがどのようにつながるのかを考えてみて、農業を様々な角度からとらえてほしいと思います。
- (4)【B】九谷焼は、現在の加賀市に位置する加賀国九谷村に良質の磁土が発見されたことから、窯を築いて作られ始めたこととされています。豪華な色絵磁器が特徴です。伝統工芸品の呼称には、それぞれの旧国名や地域名がついていることが多いです。由来や、その特徴なども併せて確認しておくようにしましょう。

問 17【B】資料読み取り問題です。各項目で出ている数字に着目し考えてほしいです。